



記事内容は執筆者個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません。

# スクールソーシャルワーカーだより 31

こと ほりかわしげとし

horikawassw@gmail.com

あたらしい学期が始まりました。

改めまして…

## ☆ 再スタート の巻 ☆

このお便りは、日々、子どもを支えておられる方々に向けて、スクールソーシャルワーカーであります『ほりジイ』が、過去の経験などと、日常の活動の中で見聞きした事を重ね合わせて書かせていただいています。

私的な考えなどを書いておりますので、お読みになっておられるあなたや、お子さんに、そのまま当てはまる内容ではなく、参考になれば、と言う程度のものです。

☆

さて、現在、唐津市/玄海町の小中学校で活動する6名のスクールソーシャルワーカー、(長いので省略してSSWと書く事にします) それはどんな仕事をするのでしょうか。

言葉通りに翻訳すると、「学校に居る民生委員」です。困っている子どもに、どのような手立てがあれば、その困り事が小さくなるか、周りにおとなと一緒に考え、実施するお手伝いをする仕事です。

学校にSSWが登場して今年14年目。この数年でようやく、学校の先生方には名前が知られるようになりましたが、何をやる人なのか、いまだに正体不明。このお便りが配られている学校以外では、あまり活用されていないのが残念です。

★

紹介が後先になりましたが、書いております『ほりジイ』こと堀川重敏は、SSWを務めて12年、元高校教師の社会福祉士です。

長崎市出身で、長崎大学水産学部卒業後、長崎水産高校などで理科/生物を教え、潜水士受験のお手伝いもしていました。

ほぼ毎年担任となり、学級通信でクラスの出来事をご家庭にお伝えしたものでした。

中退後、しばらく出家/修行しました。

☆★

今回、**再スタート**と題して31号を発行したのは、先に触れたように、このお便りがすべての学校、すべてのご家庭に配布されているわけではなく、折に触れてあなたのお手元に届く仕組みの学校が多い事によります。

それでもあなたが、今すぐ、SSWと会う必要は無いかも知れません。それでも、この後届くSSWだよりを読んでいただく事で、少しでもSSWをイメージしていただけたら嬉しく思います。

